

# 「道德の時間」の基本と応用 ～実施から半世紀を前にして、今総括を～

昭和33年から実施された「道德の時間」50年の歴史のなかで、多様な指導法が開発され、資料が整備され、さらに諸外国の道德教育なども取り入れられてきました。これまでの道德教育の進展の推進力として様々な教員、行政実務者、研究者の皆様の多大なご努力があったことはいまでもありません。しかし現状において、様々な指導法を表面的な理解だけで捉え実践する風潮が一部に見られます。その原因は、「道德の時間」を大局的な見地から振り返り、取り組みの成功や失敗を明確にすることや、根本から現行の「道德の時間」を見直す姿勢が十分ではなかったのではないのでしょうか。実施から50年を迎える前年の今、一旦立ち止まり、問題を整理して、より確かな成果が期待できる道德教育への方向性を明らかにすることが不可欠であると考えております。

午前の部では、道德教育の原点に立ち戻り、「道德の時間」が培ってきた基礎・基本を明確にするとともに、これまで議論されてきた問題点を整理します。さらに午後の部で、現在の「道德の時間」の課題を捉え、課題解決のためにどのような実践が必要なのかを討議します。そして全体討議において参加者の皆様と意見交換を図りながら、課題解決の実践手法を共有していただきたいと願っております。

とき 7月31日(火) 10:00～16:45 (懇親会17:30～19:00)

ところ 国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟 国際会議室 (東京都渋谷区代々木)

申込み 申込み票を郵送、Fax、E-mailで送付ください。入場整理券を送ります。(先着230名)

参加費 2,000円 資料代として(懇親会は別途3,000円)

※改めて振込用紙を事前にお送りします。

午前の部 10:10～12:00 質疑応答を含む(敬称略)

## 道德授業を語る～その基礎・基本と応用～

発表1 新宮 弘識 (淑徳大学名誉教授、日本道德基礎教育学会会長)

発表2 横山 利弘 (関西学院大学教授、日本道德教育学会会長)

質疑応答

コーディネーター 服部 敬一 (大阪教育大学附属天王寺小学校副校長)

午後の部 13:00～14:30

全体討議 14:45～16:45 (敬称略)

## 道德授業の課題は何か・どう克服するか

発表1 西野真由美 (国立教育政策研究所総括研究官)

発表2 藤永 芳純 (大阪教育大学教授)

発表3 永田 繁雄 (文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

全体討議 パネリスト 午前・午後の発表者5名

コーディネーター 服部 敬一

連絡先

財団法人 <sup>うえひろ</sup>上廣倫理財団 道德教育シンポジウム係 担当 上田博次、鈴木沙央里、宮前 有理  
 〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3  
 TEL. 03-3261-8711 FAX. 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp

財団法人上廣倫理財団『道德教育シンポジウム』参加申込み票 No.3

平成19年 月 日

フリガナ	
ご芳名	
フリガナ	
学校名 (勤務先)	
連絡先	〒 ( 学校 ・ 自宅 ) ○で囲む  TEL. FAX. E-Mail
懇親会 (○で囲む)	出席 ・ 欠席